

2025 年 10 月 17 日

各 位

オンコセラピー・サイエンス株式会社
代表取締役社長 嶋田 順一
(コード番号 4564 東証グロース)
(問い合わせ先) 管理本部統括取締役 朴 在賢
電話番号 044 - 201 - 6429

当社連結子会社における、東京大学医科学研究所附属ヒトゲノム解析センターとの
ヒトに関するゲノムデータ解析技術に係る共同研究契約締結のお知らせ

この度、当社連結子会社である株式会社 **Cancer Precision Medicine** (以下「CPM 社」) は、東京大学医科学研究所附属ヒトゲノム解析センター健康医療インテリジェンス分野の井元清哉教授と、ヒトに関するゲノムデータ解析技術に係る共同研究契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

次世代シーケンスは、数千万から数億の DNA 断片の塩基配列を高速に決定することができる技術であり、近年のゲノム研究を大きく進展させ、ゲノム医療の実現に必須となっています。一方で、従来の次世代シーケンスはショートリードを基盤としており、リード長が数百塩基以下に限られているため、複雑なゲノム領域や反復配列の解読、大規模構造変異などの正確な検出には限界があります。これに対し、近年開発が進んでいるロングリードシーケンスは、数千から数十万塩基に及ぶ長鎖配列を一括して解読可能であり、さらに遺伝子のオン／オフを制御する DNA メチル化情報 (※) を取得できることから、従来技術の制約を克服し得る手法として注目されています。同時に、ロングリードシーケンス等の技術によって得られる膨大なデータを高速に処理し必要な情報を整理するゲノムデータ解析の技術開発が、ゲノム研究およびゲノム医療に幅広く活用していくための重要な課題となっています。

本共同研究では、ロングリードシーケンス等により得られるヒトおよび細菌叢等のゲノムデータを解析するための技術開発を行うことにより、ゲノム研究およびゲノム医療を促進することを目的としています。本共同研究において、CPM 社は、ロングリードシーケンスデータの取得とデータ解析技術の開発および実装を担当します。

【本共同研究の概要】

研究題目 ヒトに関するゲノムデータ解析技術の研究

研究代表者 東京大学医科学研究所 附属ヒトゲノム解析センター センター長 兼
健康医療インテリジェンス分野 教授 井元清哉

なお、本件による 2026 年 3 月期当社業績への影響は軽微であります。

(※) DNA メチル化情報

DNA メチル化は、DNA の特定の塩基にメチル基が付加される化学修飾で、遺伝子のオン／オフを調整する機能を持ち、細胞の分化や発生を制御しています。ゲノム研究の進展に伴い、DNA 塩基配列は正常でも、DNA メチル化に異常が起きることで、がんや神経疾患などの発症の原因となっていることが明らかになってきました。DNA メチル化情報を解析することによって、疾患メカニズムの解明や新たな治療薬の開発を促進し、より高度な診断や治療を実現する個別化医療に役立つことが期待されています。

株式会社 Cancer Precision Medicine の概要

- (1)名 称 株式会社 Cancer Precision Medicine
- (2)所 在 地 神奈川県川崎市川崎区東田町 1-2
- (3)代 表 者 代表取締役社長 嶋田 順一
- (4)事 業 内 容 がん遺伝子の大規模解析検査ならびにがん免疫療法の研究開発
- (5)資 本 金 50 百万円

以上